

4 節 学ぶ

私たちは、多くの時間を学校で過ごし、たくさんのことを学んできた。そもそも、人はなぜ学ぶのだろうか。この問いに対する多様な考え方に触れて、学ぶことの意味を考え、生涯学習という視点から、あなたの人生を考えてみよう。

ワーク 1

あなたがもし学校訪問で出会った中学2年生に「なぜ学ぶのか」と問われたら、どう答えるだろう。あなたの考えをまとめてみよう。

ワーク 2

次の文は、平成26年ノーベル平和賞に選ばれたパキスタンのマララ・ユスフザイさん（当時17歳、Malala Yousafzai）の受賞演説の一部である。

* マララさんは、15歳の時、女子教育を認めない武装勢力が支配する中、学校に自由に通えない日常をつづったブログを始め、注目を集めるようになった。下校中のスクールバスに乗り込んできた武装勢力の男に頭と首を撃たれ負傷したが、イギリスの病院で奇跡的に回復すると、世界に向け発信を再開した。

●私たちは教育を渴望していました。なぜならば、その教室に私たちの未来があったのですから。共に席に着き、読み、学びました。きちんとした学生服に身を包むのが大好きで、大きな夢を抱きながら着席したものでした。私たちは親に誇りに思ってもらいたかったし、学業優秀で物事を成し遂げられるのだということを実証したかったのです。それは、男の子だけができるのだと思っている人もいます。

●なぜ、「強国」と呼ばれる国々は、戦争を起こすことにはとても力強いのに、平和をもたらすことには弱いのでしょうか。なぜ、銃を与えることはとても簡単なのに、本を与えることはとても難しいのでしょうか。なぜ、戦車をつくることは簡単なのに、学校を建てることは難しいのでしょうか。

●私は仲間の子供たちに世界中で立ち上がろうと呼びかけます。

みなさん、これで終わりにしようと思った最初の世代になりましょう。

誰もいない教室、失われた子供時代、無駄になった潜在能力——これらを私たちが終わらせましょう。

男の子や女の子が子供時代を工場で過ごすのはもうこれで終わりにしましょう。少女が早婚を強いられることも、戦争で罪のない子供の命が失われることも、教室が空であり続けることも、少女が教育を受けることが権利ではなく罪だと言われることも、子供が学校に通えないことも、これで終わりにしましょう。この終わりを始めましょう。

私たちが終わらせましょう。ここから今すぐ、より良い将来を築きましょう。

(「マララさん受賞演説…日本語訳の全文」より抜粋、読売新聞、2014年12月11日)

なぜマララさんは、教育の重要性を訴え続けたのだろうか。感じたことや考えたことを書き、話し合ってみよう。

人はなぜ学ぶのだろうか：多様な考え方に触れてみよう

ワーク 3

次の A～E の文を読んで、考えてみよう。

A

「勉強とは生きることだ。」「東大生が育った家庭の多くでは勉強と生活が密接に関わっている。」「例えば子供を買い物に連れていき、野菜の育ち方を教えお金の計算をさせる。」「散歩をしながら雨と雲の関係を説明し月や星の動きについて話して聞かせる。」「勉強と生活が一体化していれば様々な経験を積むと自然に知識が蓄えられていく。」

三田紀房『ドラゴン桜』（講談社）

倒産の危機にある龍山高校の債権整理にやってきた弁護士・桜木は、東大合格者を出し、龍山高校を有名進学校にすることで再建を目指す。

B

「じゃ本当の幸せって何かな。」
エリ子「それを探すのが本当の勉強じゃないかな。」「教師になるために大学に行く。そして、夜間中学に戻ってくる。」

映画『学校』（平成5年、山田洋次監督）

下町の夜間中学校教師の黒井（西田敏行）は卒業を控えた様々な境遇の生徒たちと級友のイノさんの訃報を聞いて、イノさんの人生について語り合ううちに、幸福について語り合い始めた場面。

C

「これを知る者はこれを好む者に及かず。これを好む者はこれを楽しむ者に及かず。」

孔子（『論語』岩波文庫）

「真理を知る者は真理を好む者に及ばない。真理を好む者は真理を楽しむ者に及ばない。」

D

凡そ学をなすの要は己が為にするあり。己が為にするは君子の学なり。人の為にするは小人の学なり。

吉田松陰（『講孟箚記』）

「何のために学ぶのかといえば、自分を磨くためにある。自分のためにする学びこそが、立派な人になろうと志す人の学びである。人に褒められるために学ぶことは、とるに足りない人の学びである。」

E

満男「おじさん、大学へ行くのは何のためかな。」
寅「決まっているでしょう。これは勉強するためでしょう。」

満男「じゃあ、何のために勉強するのかな。」
寅「うん……そういう難しいことをきくなって言ったら、おまえに。つまり、あれだよ、ほら、人間、長～い間、生きていけば、いろんなことにぶつかるだろ。な、そんな時に、俺みてえに勉強していないやつは、この振ったサイコロで出た目で決めるとか、その時の気分で決めるよりしょうがないな。ところが、勉強したやつは、自分の頭で、きち～んと筋道を立てて、はて、こういう時はどうしたらいいかなと考えることができるんだ。だから、みんな大学に行くんじゃないか。」

映画『男はつらいよ 寅次郎サラダ記念日』

（昭和63年、山田洋次監督）主人公の寅さんの甥・満男（大学受験生）が、土手で寝ころびながら叔父に話しかけている場面。

① A～E で共感するものすべてに○を、その中でも特に共感するものに◎をつけ、それぞれ○や◎をつけた理由を書いてみよう。

A B C D E

- ② A～E を参考に、「なぜ学ぶのか」の問いに対するあなたの考えを三つ、付せん 1 枚に一つずつ書き出してみよう。

 Three rectangular sticky notes are arranged horizontally. The leftmost note has an orange vertical bar on its left edge. The middle note has a yellow vertical bar on its left edge. The rightmost note has a green vertical bar on its left edge. Each note is slightly offset to the right, creating a layered effect.

③ <グループワーク>

書き出した言葉をグループで共有し、近いイメージごとにグループ分けし、付せんのグループごとに見出しをつけてみよう。

 A large rectangular memo sheet with a light blue background. On the left side, there are eight circular punch holes. At the top left, there is a small pink pencil icon followed by the word "メモ" (memo). The rest of the sheet is filled with horizontal dashed lines for writing.

- ④ それぞれグループごとの「学び」は、人生のどのような時期（高校生、大学生、働き始めてから、年を取ってからなど）、あるいは、どのような課題に直面した時に必要となるのだろうか。話し合ってみよう。

 A second large rectangular memo sheet, identical in format to the one above. It has a light blue background, eight circular punch holes on the left, a pink pencil icon and the word "メモ" at the top left, and horizontal dashed lines for writing.

生涯にわたる学び

大人になってからも職場でキャリア・アップを目指して、より高度な技術を学ぶために学校や教室に通う人、転職を目指して職業訓練校に通う人、趣味を見つけるために習い事やカルチャーセンターに通う人、地域の公民館などの学習会やサークルで学ぶ人など、自分の目的に応じて多様な学びの場から自分にあった場を選び、学び続ける人々の姿がある。

大人の学びは、自分の生活や人生の各段階で必要が生じて、自ら積極的に学習に参加するという特徴がある。そして、その時々の生涯学習を通して、自分の中にある潜在能力を掘り起こし、自分のライフプランを実現していこうとしている。

このような生涯にわたる学びが21世紀でますます必要となることを説いたユネスコ^{*}の報告書（平成9年、「学習：秘められた宝」）では、「知ることを学ぶ」、「為すことを学ぶ」、「(他者と)共に生きることを学ぶ」、そして「人間として生きることを学ぶ」ことが生涯学習の柱であると紹介している。

進級試験や受験に合格するために勉強する時、「個人」という点が強く意識される。しかし、「(他者と)共に生きることを学ぶ」、「人間として生きることを学ぶ」といった柱は、他者との関わりへと学ぶ視点を広げてくれる。

^{*}ユネスコとは、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関（ユネスコ憲章前文より）である。

COLUMN

放送大学大学院を修了した坂本さん

私は、定年退職にあたって、退職に伴って生まれる時間を三つに分割し、学業と社会貢献活動、それに家庭生活に充てることを約束していました。学部生の時は約束どおり、それぞれの活動をバランスよく実行する生活ができましたが、修士課程になりますと学業と研究に偏って、社会貢献活動や家庭のことが少しおろそかになってしまいました。

平成21年に定年退職と同時に放送大学に入学し、平成25年に教養学部を卒業、大学院選科生を経て、本日修士課程を修了するまで7年間、高知学習センターに在

籍し、自然科学を中心に学んでまいりました。私は定年退職者という立場で、高知県が生んだ植物学者牧野富太郎にゆかりの深い植物、バイカオウレンの研究に専念することができました。しかも、高知県立牧野植物園の二人の研究者から、形態的な分類学と、新しい、ゲノムを使った分子系統学について、親切な、そして厳しい指導が受けられるという恵まれた環境で研究をすることができました。

『放送大学通信 オン・エアNo.122』（平成28年）より一部加工